

令和6年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査の概要

秩父市教育委員会 教育研究所

小学校

【児童質問紙】

- 英語の授業が好きである児童の割合が県・全国よりも高い。
- 国語・算数とも、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合が県・全国よりも高い。
- ▼自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う児童の割合が県・全国よりも低い。
- ▼国語の授業が好きではない児童の割合が県・全国よりも高い。

【学校質問紙】

- 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよくしている割合が高い。
- 児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善によく生かした学校の割合が高い。
- ▼教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたタブレットを週3回以上使用させている割合が低い。
- ▼国語の授業において、前年度までに、「目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討すること」、「登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むこと」ができるような指導をよく行った割合が低い。

中学校

【生徒質問紙】

- 学校の授業時間以外に、平日・休日に勉強を全くしない生徒の割合が県・全国よりも低い。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動を進んで取り組んだ生徒の割合が県・全国よりも高い。
- ▼国語・数学の授業が好きではない生徒の割合が県・全国よりも高い。
- ▼スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動を行った生徒の割合が低い。

【学校質問紙】

- 問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行っている割合が高い。
- 学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している割合が高い。
- ▼英語の授業において、前年度までに、英語を聞いたり読んだりして（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行割合が、県・全国よりも低い。
- ▼学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動をよく工夫した割合が低い。